

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 s a n t e c株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6777 URL http://www.santec.com/jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部経営企画グループ長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,997	△8.7	71	△45.6	263	△1.9	355	34.9
26年3月期第3四半期	2,188	60.3	131	—	268	—	263	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 357百万円 (△32.5%) 26年3月期第3四半期 529百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	29.71	—
26年3月期第3四半期	22.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	9,131	7,935	86.9	663.50
26年3月期	8,690	7,650	88.0	639.62

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,935百万円 26年3月期 7,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150	2.4	140	△21.8	190	△38.1	300	25.0	25.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	11,961,100株	26年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	314株	26年3月期	314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	11,960,786株	26年3月期3Q	11,960,840株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで。以下、「当第3四半期」。)における世界経済は、米国経済において堅調な景気の推移が見られましたが、新興国の成長鈍化が懸念され、欧州も一部の国を除いては回復の機会を窺いつつ足踏みしていることから、世界経済全体としては不透明感が残る状況で推移いたしました。わが国においては、緩やかな回復基調にあるものの、消費増税の影響から個人消費や民間設備投資に落ち込みが見られました。

このような中、当社グループは、平成27年3月期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで。)の基本方針として、「グローバル競争力強化による新顧客開拓と販売促進」を掲げ、顧客のニーズに合致した製品・品質・サービスを提供し、市場における確かな地位を確立することを目指して、更なる発展の基盤を築きあげることに取り組んでおります。

前述のような市場環境を背景に、当第3四半期の連結売上高は1,997百万円と、前第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで。以下、「前第3四半期」。)の2,188百万円に比して8.7%の減少となりました。主として、前第3四半期にOCT製品のもとまった売上があったことに対する反動減が大きく影響しております。営業利益は71百万円と、前第3四半期の営業利益131百万円に比して減少しました。売上減少に加え、将来に向けた研究開発に関する人員増と研究開発費の積み増しが影響したものです。

為替差益の発生により、経常利益は263百万円となりました。平成26年6月6日付(開示事項の経過)「OCT光源装置供給契約に関する状況変化について」および「特別利益の発生に関するお知らせ」で開示しました通り、取引先との間で円満合意が成立したことで、特別利益が発生いたしました。これに加え、当第3四半期の四半期純利益は355百万円となりました。前第3四半期の263百万円の四半期純利益に比して大幅に増加しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光部品関連事業

光通信業界においては、データ通信量の増加を背景としてより広帯域の通信に対応した新規格への切替が進んでおりますが、活況となっているのは、データセンタ向け通信設備であり、当社製品が属する中長距離通信網(いわゆる「メトロ」「ロングホール」)では、次世代規格の選定を巡って試行錯誤が続いております。当第3四半期における売上高は706百万円と、前第3四半期に比して10.2%の減少となりました。足元の中長距離向け需要が思わしくない中、データセンタ向け光部品製品で補う形となりました。当第3四半期におけるセグメント利益は16百万円となり、前第3四半期のセグメント損失130百万円に比して大幅に改善しております。

#### ② 光測定器関連事業

同事業における当第3四半期の売上高は、964百万円と、前第3四半期の1,128百万円に比して14.5%の減少となりました。これは、前第3四半期の売上に寄与したOCT製品大口受注の反動減が主な原因です。

一方、光測定器製品に関しましては、波長可変光源製品の引き合いが引き続き好調で、前第3四半期に比して売上が44.2%増加しております。セグメント損失は3百万円(前第3四半期はセグメント利益219百万円)となりました。これは売上高の減少に加え、将来の成長のため研究開発費を積み増していることによるものです。

#### ③ システム・ソリューション事業

同事業においては、モバイルデバイスなどからPCを操作するPC遠隔操作ソリューションの販売が引き続き好調だったことから当第3四半期の売上高は326百万円となり、前第3四半期の272百万円に比して19.6%増加いたしました。セグメント利益は57百万円と、前第3四半期の41百万円に比して38.3%増加しております。

当社グループは、平成26年5月、モバイルデバイスでの文字入力効率を劇的に改善する「誤入力修正ソリューション」の開発元と業務資本提携を行い、新たなサービスを日本に提供すべく取り組みを進めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末(8,690百万円)に比べて441百万円増加し、9,131百万円となりました。これは、たな卸資産の増加及び投資有価証券の増加などがあったことによるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,039百万円)に比べて155百万円増加し、1,195百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したことによるものであります。

## ③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,650百万円)に比べて285百万円増加し、7,935百万円となりました。これは、四半期純利益計上による利益剰余金の増加があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

光通信分野におきましては、通信設備投資の必要性は高まっているものの、主力の中長距離向け光部品製品に関連して、投資抑制の動きに改善が見られないことから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くと考えております。一方で、データセンタ関連の需要獲得など従来にない新しい顧客のニーズを捉えはじめていること、引き続き光測定器製品及びシステム・ソリューション製品の需要が伸びていることから、更なる市場開拓のための積極的な営業展開を図ることで安定的な収益確保を目指してまいります。当社グループは、このような環境の中、市場の変化を正確に見極め、革新的な発想のもと、成長のための研究開発投資を惜しまず、将来の発展に向けて全力を尽くしてまいります。

通期業績予想に関しまして、当第3四半期の経常利益及び四半期純利益は、既に通期業績予想数値を上回っておりますが、為替相場の先行きが不透明であることなどから通期業績予想につきましては、平成26年6月6日付発表のものから変更はありません。通期業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,798,992	1,918,286
受取手形及び売掛金	871,418	700,804
電子記録債権	25,052	-
有価証券	115,470	222,395
商品及び製品	200,765	318,761
仕掛品	25,458	106,606
原材料	104,377	142,366
その他	74,711	126,024
貸倒引当金	△2,530	△2,401
流動資産合計	3,213,716	3,532,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,715,736	1,663,755
機械装置及び運搬具(純額)	385	12,717
土地	1,608,877	1,608,877
リース資産(純額)	2,590	2,220
建設仮勘定	-	12,635
その他(純額)	41,903	61,975
有形固定資産合計	3,369,492	3,362,181
無形固定資産	81,620	85,611
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991,836	2,114,924
その他	33,632	35,745
投資その他の資産合計	2,025,468	2,150,669
固定資産合計	5,476,581	5,598,462
資産合計	8,690,298	9,131,307

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	237,639	316,675
未払法人税等	28,523	104,177
賞与引当金	16,215	69,812
その他	178,660	138,326
流動負債合計	461,040	628,992
固定負債		
退職給付に係る負債	329,649	345,640
資産除去債務	11,362	11,558
その他	237,936	209,149
固定負債合計	578,947	566,348
負債合計	1,039,987	1,195,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	947,125	1,230,690
自己株式	△119	△119
株主資本合計	7,135,037	7,418,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562,794	507,070
為替換算調整勘定	△47,521	10,292
その他の包括利益累計額合計	515,272	517,362
純資産合計	7,650,310	7,935,966
負債純資産合計	8,690,298	9,131,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,188,313	1,997,885
売上原価	1,178,428	978,785
売上総利益	1,009,885	1,019,100
販売費及び一般管理費	878,813	947,759
営業利益	131,071	71,341
営業外収益		
受取利息	39,099	50,781
受取配当金	8,802	30,526
為替差益	105,401	114,921
その他	21,060	25,082
営業外収益合計	174,364	221,313
営業外費用		
支払利息	20	30
休止固定資産関係費用	18,458	17,628
不動産賃貸費用	12,619	11,469
その他	5,723	16
営業外費用合計	36,822	29,145
経常利益	268,613	263,508
特別利益		
固定資産売却益	—	266
受取補償金	—	212,233
その他	10,689	2,078
特別利益合計	10,689	214,578
特別損失		
固定資産除却損	30	45
特別損失合計	30	45
税金等調整前四半期純利益	279,273	478,041
法人税等	15,807	122,711
少数株主損益調整前四半期純利益	263,465	355,330
四半期純利益	263,465	355,330



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	263,465	355,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223,621	△55,724
為替換算調整勘定	42,068	57,814
その他の包括利益合計	265,690	2,089
四半期包括利益	529,156	357,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529,156	357,420
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	786,891	1,128,490	272,931	2,188,313
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	786,891	1,128,490	272,931	2,188,313
セグメント利益又は損失(△)	△130,597	219,906	41,763	131,071

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	706,998	964,515	326,372	1,997,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	706,998	964,515	326,372	1,997,885
セグメント利益又は損失(△)	16,806	△3,224	57,758	71,341

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。